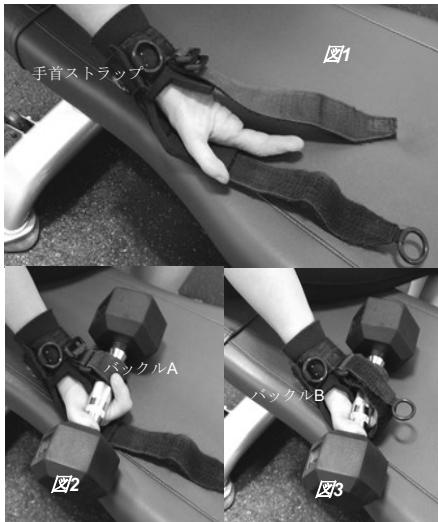


アクティブハンズの肢障害エイド（AH8）はすり傷を軽減するためにパッドが付いています。

グリップエイドは手首ストラップがすでに締められた状態でお届けしています。

エイドを装着するときは、対応する図を参照しながら下記の指示に従ってください。

1. 手首ストラップのマジックテープをはがし（このストラップをバックルから引き抜かないでください）、手を入れ、手首ストラップをしっかり引きまます。手首のもっとも細い部分の周りで締めます。快適性のためネオプレンを長めにしてありますので、この部分を下側に押し込むか、好みの長さで切ります。長い方のストラップが手の後側にくるようにします。図1を参照。
2. 掌側のストラップを外し、ストラップの上にある掌に握りたい物を載せます。掌側のストラップを握りたい物の上から渡してバックルAに通し、しっかりと引いて快適な位置に固定します。図2を参照。親指がある方は、通常親指と人差し指の間の「V」形の所で掌に載せるのが最適の位置です。親指がない方は、手の「付け根」に載せるのが最適の位置でしょう。
3. 手の上方回りのストラップを外し、そのストラップを掌側のストラップと握りたい物の上に渡してバックルBを通し、折り返してストラップ自体に固定します。図3を参照。



注意点

当グリップエイドが適しているかどうか分からない場合、使用前に医師、物理療法士、職業療法士に問い合わせてください。

グリップエイドを装着して使用する場合、常にこの説明書の指示に従ってください。

- アクティブハンズのグリップエイドは、かなりの間使うことができなかった物を握れるようにするために設計されています。従って、重い物や握りにくい物を使用する場合、筋肉（特に手首の筋肉）に過度な負担をかけないように注意してください。
- 握った物が手から滑り落ちないようにしっかり握るために、グリップエイドを十分に締めてください。
- 特に血行に問題がある方は、グリップエイドを長時間使用しないでください。
- 一時的に意識不明になることがある方は、グリップエイドで鋭利な物を握らないでください。
- グリップエイドが破損した場合は使用しないでください。
- グリップエイドを高温の物を握るために使用したり、また直火のそばで使用したりしないでください。
- グリップエイドを使用して新しい作業をする場合、誰かそばについていることをお勧めします。
- グリップエイドを使用する場合、いったん締めた後は自動的に「手を放す」ことができないことにご留意ください。
- 重いものやかさばる物（例えばウェイト）を持ち上げて維持する場合、持ち上げた物を安全にかつ注意して下まで下げることができる、充分な力があり、またコントロールできることを確認してください。物を頭上に持ち上げる場合は特に注意してください。
- 重量上げのような運動を行う場合、ウェイトを苦痛のない位置まで動かして、グリップエイドを外すことができるように、十分な体力を残しておくことに注意してください。

グリップエイドを使用すると、ある程度リスクを伴う活動（例えば、鋭利な道具や重い道具の使用やスキーなど）ができるようになります。そのような活動は固有な危険が伴うことを認識した上で、必要な監督下でのみ行ってください。

